



- ◎ 地域医療支援病院
- ◎ 地域がん診療連携拠点病院
- ◎ 病院機能評価認定病院
- ◎ 臨床研修指定病院

第23号 平成28年1月1日発行

## 『新春のご挨拶』



福島労災病院  
病院長 渡辺 毅



謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

私は、医師として41年過ごした大学生活を18年間務めた福島県立医科大学を最後に定年退職後福島労災病院に赴任して早や9か月が経ち、自身66回目の新春を、初めてのいわきの地で、初めての病院管理者として迎えています。この9か月間を振り返ってみると、当院で補充が必須な整形外科、麻酔科、泌尿器科、呼吸器内科などの診療科の医師確保のための30以上の大学講座の訪問や建て替え時期となっている当院の将来構想の纏めと改築のための計基本画立案など、今までに経験していない新鮮な仕事で、時間はあっという間に過ぎた気がします。しかしながら、未だ医師確保も新病院計画の具体化も目に見える成果を挙げているとは言い難い現状です。一方、いわき市の医師、看護師不足による医療崩壊が急速に解決する目途も乏しく、新年の医療界は、診療報酬の実質マイナス改定、病床削減を基調とした地域医療構想など病院経営にとっては厳しい状況が予測されています。このような状況を克服し、①いわき市民のための急性期または高度医療を提供する急性期病院、②地域医療連携の中核病院・地域包括ケアの後方支援病院、③労働災害・職業性疾患医療提供という当院の使命を果たすために、現在縮小または閉鎖されている診療科の充実・再開の努力継続と同時に予測される少子高齢社会に対応した新病院将来構想に基づく建築計画の具体化は車の両輪の如く継続して行かねばならないと思います。本年（来年度）は、将来の当院の発展に向けての反転攻勢の第一歩にしたいと思っています。

（次ページへ続く）

### ～ 目 次 ～

- 新春のご挨拶 …P 1～3
- 看護部紹介（手術室） …P 4～5
- 地域がん診療連携拠点病院としての取組みについて …P 6～8
- 市民公開講座開催のご案内 …P 8

いわき市の将来の病院を取り巻く医療状況は、様々な公的な指標の解析に基づくと、必ずしも悲観的なものではなく、病院の将来像や建築計画がいわき市の医療需要に対応する妥当性があれば明るい未来が開けてくる可能性があると思います。また、新病院建設計画に全職員が参画する過程を通じて、全職員が未来の夢を共有する一体感を醸成出来れば、さらに成功確率は上がると思っています。当然、独立行政法人労働者健康福祉機構、いわき市、福島県などの行政機関、いわき市の多くの医療・福祉関係者との協力関係構築も必須であり、このための努力を続けたいと考えています。いずれにしても、実現のための努力次第で未来は開ける（必ず解決策はある）という楽観性が大切と思っています。また、私自身は、旧年中は福島県立医科大学 生活習慣病・慢性腎臓病病態治療学講座での疫学研究や内科学会、糖尿病学会、及び日本専門医機構での大学時代から延長した仕事である程度の時間を使った気がしています。本年は、徐々にこれらの仕事を後進に譲ることで、多くの時間を当院における上述の2つの目標のために使用できることと予測しています。私自身も残された時間を有効に使って頑張りますので、本年も皆様のご交誼、ご指導、何とぞ宜しくお願い致します。



## 『新年のご挨拶』

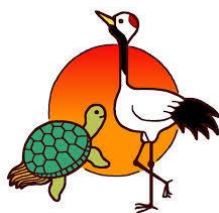
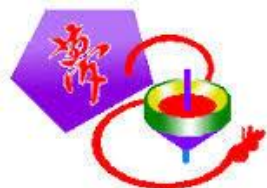
福島労災病院  
事務局長 遠藤 謙司



新年あけましておめでとうございます。

昨年4月、前任地の神奈川県から当院に赴任し、いわきの地で初めての正月を迎えることとなりました。昨年を振り返りますと、同じく4月に赴任した新院長とともに、欠員が生じていた診療科の医師を確保すべく県内外を奔走し、大学及び関係者の方々への挨拶回りに明け暮れた年であったように思われます。その成果としましては、今のところ相手の方々からいただいたたくさんの名刺だけ(?)と言っては叱られるかもしれませんが、こうした多くの出会いが今後さまざまな形で当院を支援いただくきっかけになることを信じて、今年もできる限り各方面に足を運びたいと考えております。

今年4月には診療報酬改定が予定されており、診療報酬全体としてマイナス改定になるとの報道もなされております。今年申年ですので、こうした苦境を知恵と機転で乗り越え、皆様におかれましてはすべての災いが去る年になりますよう心からお祈り申し上げます。





## 『新年のご挨拶』

福島労災病院  
看護部長 高野 文子

あけましておめでとうございます。

今年はいつにもまして穏やかな元旦で、自宅の庭から初日の出を拝むことができました。この一年が平穏であることを祈りつつ。

しかし、新年度、看護師不足はもとより、2025年問題を見据えた医療制度改革、診療報酬の改定の年でもあり、課題もあります。国は地域を基盤とした「地域包括ケアシステム」を目指しています。今年度は看護実践力の強化、特に退院支援、がん看護の充実を掲げ活動してきましたが、さらに、地域・他職種と連携・協働し、「医療の質」に加えて「生活の質」を高める機能の強化を図らなければと考えています。

ところで「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」という絵本をご存じでしょうか？

2012年、リオデジャネイロで地球環境の未来について国際会議が開かれ、ウルグアイの大統領の演説が多くの人に感動を与えたのです。豊かさを求め発展してきた世界が見失いかけているもの、逆に、地球環境の危機を招き始めていることへの警鐘を、謙虚に述べられたのです。

看護も、本質を見失うことなく、一人一人の幸せ、よりよい生活を目指すための支援ができたと思う新年の朝でした。



# 看護部紹介（手術室）



こんにちは。今回の看護部紹介は「手術室」です。

当院の手術室では、外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科の手術を年間 1500 件、1 日 5~6 件実施しています。スタッフは看護師 15 名、看護補助者 1 名です。麻酔科医師や各科医師と協働し、安全・安楽な手術をモットーにしてすすめています。でも、皆様にとってはあまりなじみのない所、できれば避けたい場所かもしれませんね。そこで、なかなか入れない手術室ではどんなことが行われているのか、少しご紹介したいと思います。

## カンファレンス

まずは全員で、今日一日の手術について情報共有を行います。



アレルギーは？  
体位は？

## 器機準備

手術で使用する器械を準備します。



どんどん  
出しますよー！！！！



器械がいっぱい！！  
急がなきゃ！



## 手術



予定手術が無事に終わるように医師の介助をしたり、手術中の患者様の状態を麻酔科医師と一緒に注意して観察しています。



## 術前訪問



手術前の患者様の所へ伺います。手術のおおまかな流れについてお話しします。手術のことについて聞きたいことがありましたら、遠慮せずに言ってくださいね。

## 術後訪問

手術が終えて数日経過した頃に病室へ術後の様子を見に伺うことがあります。

## ♪期待のルーキー♪



手術室は初めてのことばかりで大変なこともあります。とてもやりがいがあります。私も先輩方のように早く一人前になれるように頑張ります!!!





## 『地域がん診療連携拠点病院』 をご存知ですか？

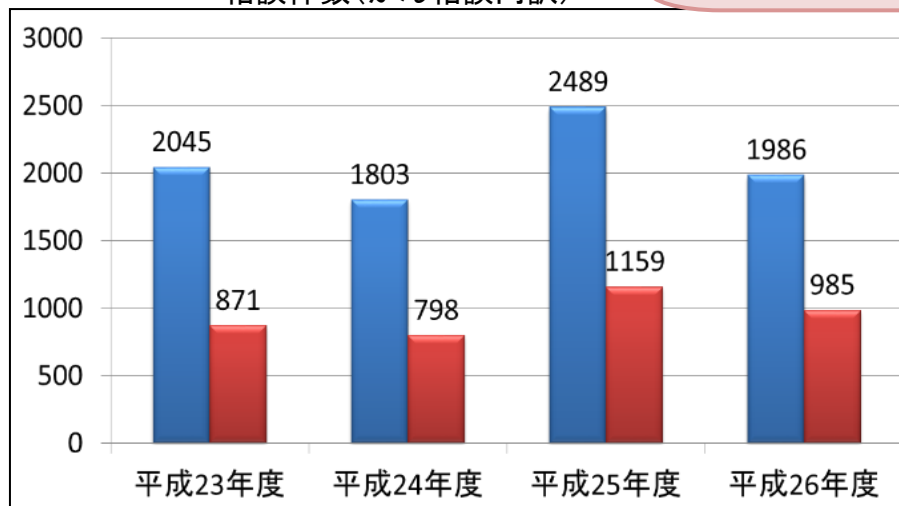
「がん診療連携拠点病院」は、全国どこでも質の高いがん医療を提供することを目的として、都道府県の推薦を受け、国からの指定を受けた病院です。現在、全国で401病院が指定され、福島県内では9病院が指定を受けています（平成27年4月1日現在）。当院は平成15年にその指定を受けております。

「がん診療連携拠点病院」では、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援及び情報提供等を行います。今回は、当院の「がん診療連携拠点病院委員会」を構成する5つの部会から、活動の一部をご紹介します。

### <相談支援部会>

遠慮なく私たちにご相談  
ください！！

相談件数(がん相談内訳)

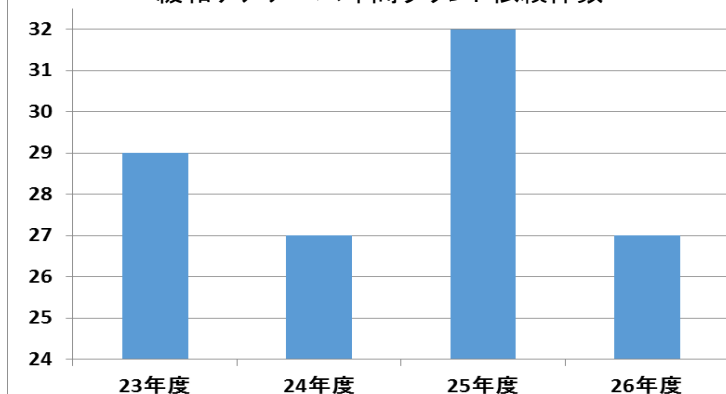


相談支援センターには、がん治療における医療費など、さまざまな内容の相談が寄せられます。実人数では年間約2000人程が利用しています。また、定期的のがん患者サロンを開催しています。

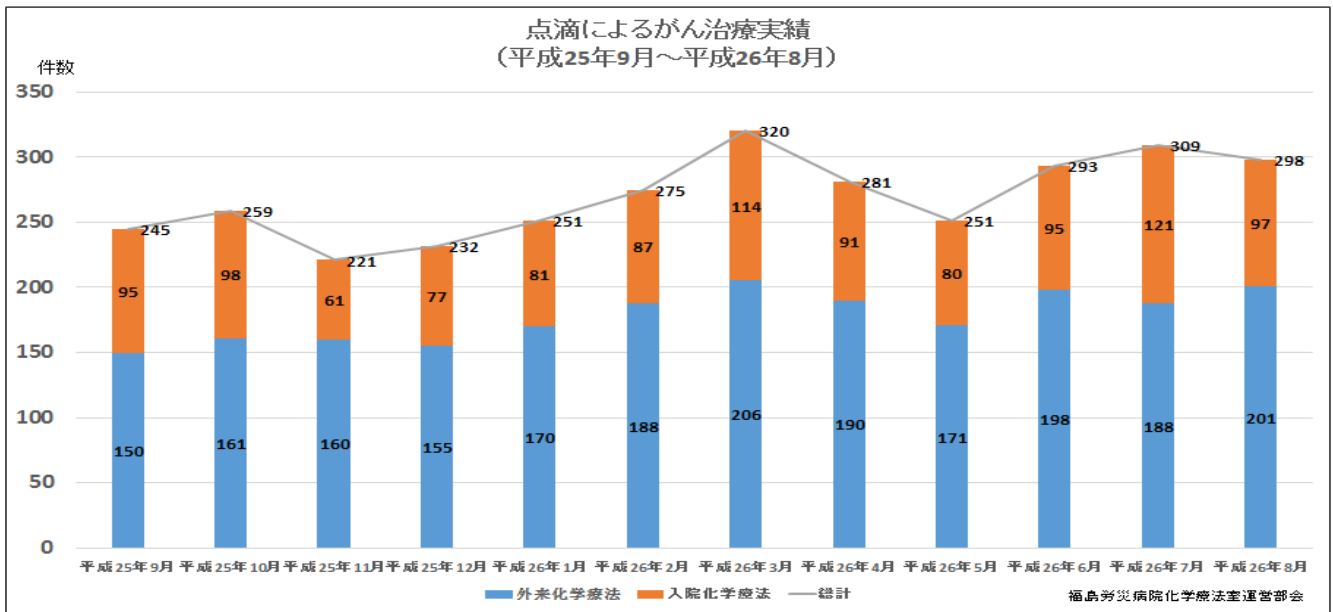
### <在宅・緩和ケア部会>

がんの末期になったら、緩和ケアが必要と考える人がいるかもしれませんが、実際はがんと診断された時から緩和ケアは必要とされます。当院には緩和ケアチームがあり、様々な職種の専門家が相談に応じることができます。何か心配なことがありましたら、外来や入院病棟の職員に声を掛けて下さい。

緩和ケアチーム年間ラウンド依頼件数



## <化学療法室運営部会>

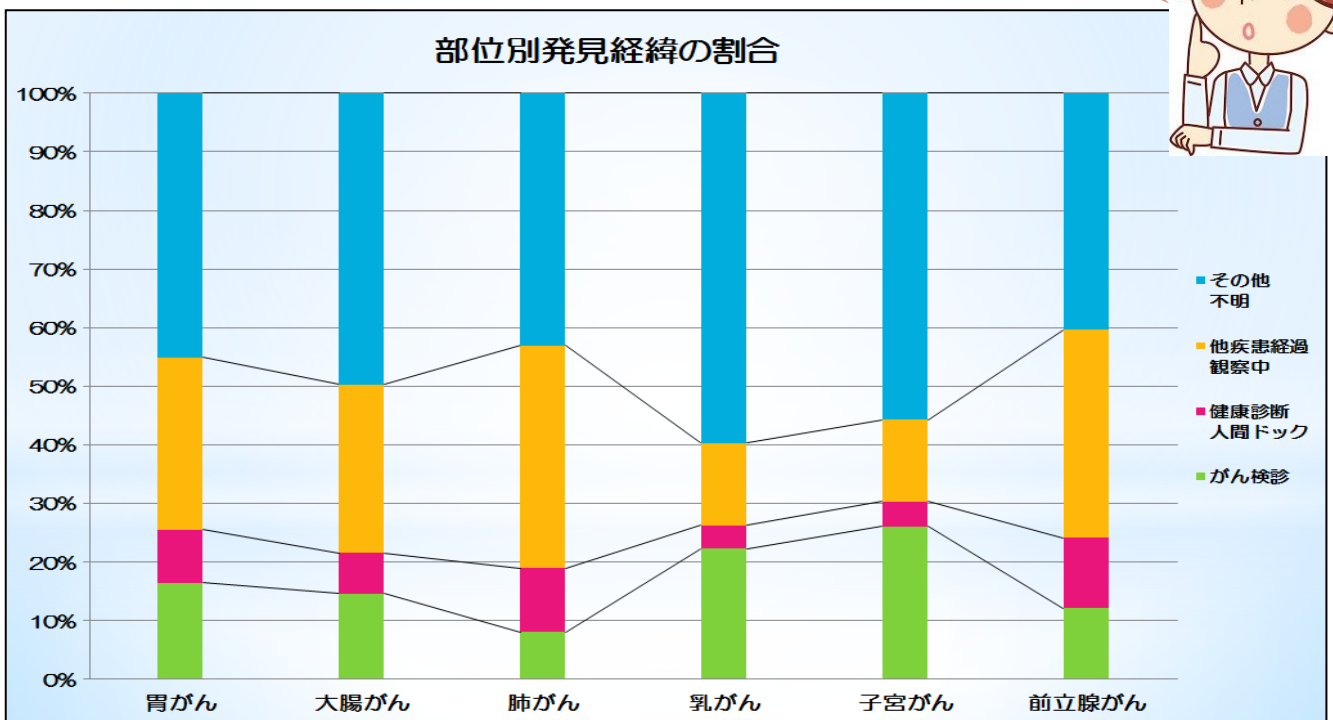


当院では、数多くの患者さんが点滴での抗がん剤治療を受けています。最近では、外来で治療を受けることが可能となり、件数は入院治療よりも多いことがわかります。日常生活や仕事との両立がし易くなったとも言えるでしょう。

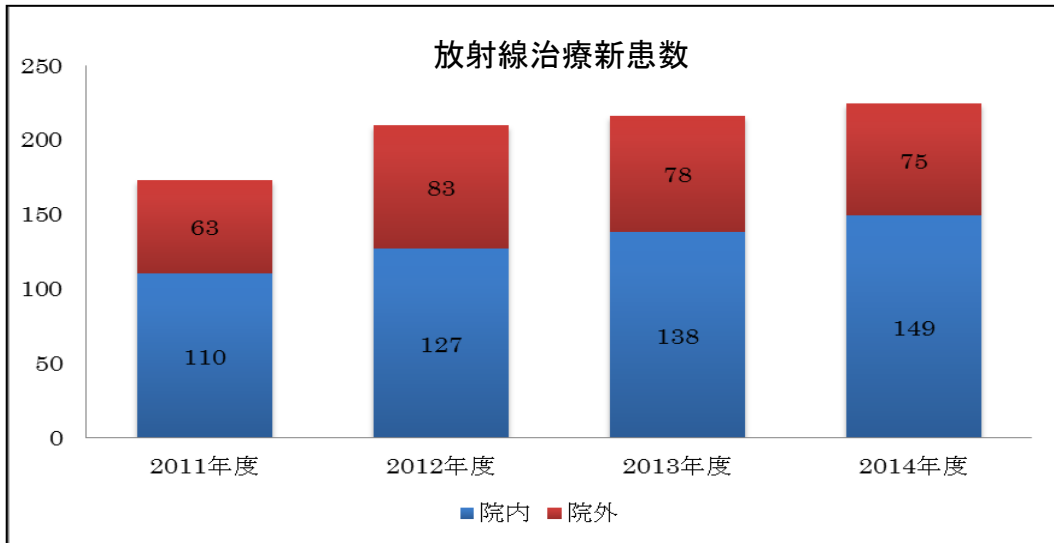
## <がん登録部会>

院内がん登録は、診断や治療がされたすべての患者さんのがんについて情報を集め、がん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。調査項目の「発見経緯」ではどのようにしてがんが見つかったかを知ることができます。

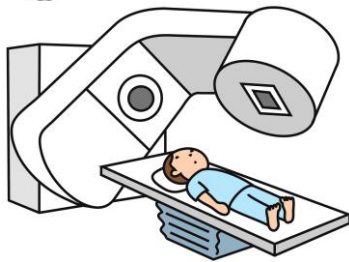
がん検診やドックでの発見はまだまだ少ないですね。



## <放射線治療部会>



「放射線治療」では、あなたの病気をなおすため、がんによる各種症状緩和のために「放射線」を使います。がん診療における放射線治療の重要性は増加傾向にあり、当院においても増加傾向です。がん診療連携拠点病院として地域の多くの病院から患者さんを受け入れております。



2月16日(火)に放射線治療に関する市民公開講座を開催いたします。皆様のご来場をお待ちしています。



## 地域がん診療連携拠点病院 市民公開講座

日時 平成28年2月16日(火) 18:30~

場所 いわき市文化センター 1F 大講義室

### 講演

『“切らずに治す”：最新の放射線治療』

講師：福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座

教授 鈴木 義行 先生

座長：福島労災病院 副院長 武藤 淳 先生

参加費：無料  
申し込み：不要

主催：福島労災病院

お問い合わせ先：福島労災病院 総務課  
TEL0246-26-1111